

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年2月26日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【地震の影響による処理水タンクの位置ずれ、およびタンク連結管の変位について】 当社社員が、2月13日の地震発生後のパトロールにおいて、タンクの位置ずれを確認したことから、各タンクエリアのタンクの位置ずれによるタンク連結管の変位量測定を行なった結果、Dタンクエリアの処理水タンク連結管5箇所の変位量が製造メーカー推奨値を超過していることを確認。 Dタンクエリア以外のタンク連結管の変位量は、製造メーカー推奨値以内であることを確認。 処理水タンクおよびタンク連結管等からの漏えいは無いことを確認。 ・Dタンクエリアにおけるタンク連結管の変位量が製造メーカー推奨値を超過した箇所 D1タンクとD2タンクの連結管、D2タンクとD3タンクの連結管、C2タンクとC3タンクの連結管 C7タンクとC8タンクの連結管、B3タンクとB4タンクの連結管 今後、対応を検討。	GⅡ	2月22日
2	【既設多核種除去設備上澄液移送ポンプ(2C)および(3C)のフランジ部の不具合について】 協力企業作業員が、既設多核種除去設備上澄液移送ポンプ※(2C)および(3C)点検において、両ポンプの配管フランジ部に不具合を確認。 ・上澄液移送ポンプ(2C)：ポンプ入口側フランジ内部に腐食。 ・上澄液移送ポンプ(3C)：ポンプ出口側フランジ部に水のにじみ。当該フランジ部は、ポンプの水受けパン内であり、滴下水はなし。 措置として、ポンプ(2C)および(3C)の各入口弁および出口弁を全閉とし、両ポンプの隔離を実施済み。 当該ポンプは、使用頻度が低いこと。必要な場合には他系統のポンプを流用することが可能であり、運用に影響なし。 今後、対応を検討。 ※上澄液移送ポンプ：クロスフローフィルタ用高性能容器(HIC)から脱水を行ない、脱水した水を排水タンクへ移送するポンプ	GⅢ	2月19日
3	【既設淡水化装置(3-1)の入口圧力低警報の発生について】 当直員が、免震重要棟集中監視室において、既設淡水化装置(RO3-1)運転中に、入口圧力低の警報が発生し、装置が停止したことを確認。 現場確認の結果、漏えいはなく、当該装置が停止していることを確認。 既設淡水化装置の運転を他の系統(既設淡水化装置(RO3-3, 4))へ切替えており、浄化処理に問題なし。 今後、原因調査および再発防止対策を検討。	GⅢ	2月21日